

南ア月報
(2019年9月)

【内政】

- ラマポーザ大統領による上下両院合同議会の緊急招集

【外政】

- パンドール国際関係・協力大臣の第74回国連総会出席

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- Moody's、今後12-18ヶ月は南ア信用格下げが起きない見込みである旨言及

【広報・文化】

- ラグビーW杯関連広報行事の開催
- 日本人ピアニスト竹ノ内博明氏によるモーツァルト・ピアノソナタコンサートの開催

【警備】

- 外国人排斥を掲げた暴動や抗議活動の発生

1 内政

●ラマポーザ大統領による上下両院合同議会の緊急招集

外国人排斥の動き及びジェンダーに基づく暴力に起因する暴動や抗議行動が激化するなどの事態を受け、18日、ラマポーザ大統領は上下両院合同議会を緊急招集した。

外国人排斥問題に関し、ザンビアにおける南ア代表チームとのサッカーの試合の中止、ナイジェリアにおける南ア企業が襲撃を受けたことなどにより、在ナイジェリア南ア大使館を一時的に閉館するなど、南アにおける外国人排斥の影響がアフリカ大陸全体へと広がりつつあることを受け、ラマポーザ大統領は、ナイジェリア、ニジェール、ガーナ、セネガル、タンザニア、コンゴ（民）及びザンビアへの大統領特別特使を派遣した。

ジェンダーに基づく暴力問題に対し、①予防、②刑法の強化、③政策枠組みの見直し、④犠牲者へのケア、⑤女性の経済力支援を行うことを緊急措置として発表した。

また、ラマポーザ大統領は、これらの問題に対処するため国内に留まる必要があるとして、当初予定していた第74回国連総会への出席を取りやめ、パンドール国際関係・協力大臣に出席を命じた。

2 外政

●パンドール国際関係・協力大臣の第74回国連総会出席

パンドール国際関係・協力大臣は、ラマポーザ大統領の代理として国連総会に出席し、28日に一般討論演説を行った。同大臣は、女性に対する暴力や差別といった不寛容を批判し、誰もが人権と身体の安全を享受できるよう早急に行動しなければならない旨主張した。また、同大臣は、安保理改革の必要性及びIGN（政府間交渉）がテキストベースの交渉に入るべきである旨訴えた。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数（CPI）

8月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.3%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は前年同月に比べ4.3%上昇。（南ア統計局、9月18日）

●為替レート

2019年9月31日付（南ア準備銀行）

7.1222 ランド/円

15.2187 ランド/米ドル

16.5747 ランド/ユーロ

●製造業生産高

7月の製造業は、前年同月比1.1%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、ゴム、プラスチック製品で8.0%減。主なプラス要因は、食品、飲料品で7.0%増。季節調整後生産高は、前月比1.9%減。また季節調整後生産高（5-7月）は2-4月に比べ1.4%減で、製造業10部門中6部門で生産高減となった。（南ア統計局、9月10日）

●鉱業生産高

7月の鉱業生産高は、前年同月比2.4%増。主な要因は、鉄鉱石で23.7%増、石炭で8.6%増。季節調整後生産高は前月比3.8%減、また季節調整後生産高（5-7月）は2-4月に比べ4.1%増となった。（南ア統計局、9月12日）

<出来事>

●Moody's、今後12-18ヶ月は南ア信用格下げが起きない見込みである旨言及

10日、大手信用格付け機関Moody'sが主催する「サブサハラアフリカサミット2019」が行われ、カントリーリスクオフィスの副社長であるLucie Villa氏が、南アの信用格下げは今後12-18ヶ月では起きないだろうと言及した。現在、南アは投資グレードとしては最も低いBaa3だが、今後の経済状況に関しては安定した見通しを持っている。一方で、格下げを回避するためには、政府の債務比率を減らさなければならず、政府としては経済成長に導くための正しい経済政策を引き続き示していかなければいけないことを強調した。

4 広報・文化

●ラグビーW杯関連広報行事の開催

6日、当館多目的ホールにおいて、ラグビーワールドカップ2019日本大会を前に埼玉県熊谷市で行われた日本代表対南アフリカ代表戦関連行事を実施した。会場では大会や熊谷市の紹介を行うとともに、日本食や日本産飲料を提供し、ワールドカップ本戦に向けた機運を高めた。

また、21日及び28日には同じく多目的ホールにおいて、ワールドカップ本戦南アフリカ代表対ニュージーランド代表、南アフリカ代表対ナミビア代表戦に際して、大会や試合開催地である横浜市及び愛知県豊田市の紹介を行うとともに、日本食や日本産飲料を提供しつつ、関連行事を実施した。

●日本人ピアニスト竹ノ内博明氏によるモーツァルト・ピアノソナタコンサートの開催

ロンドンで活躍している日本人ピアニストの竹ノ内博明氏が当地を訪れ、プレトリア・ブルックリンシアターにおいて23日から25日にかけてモーツァルト・ピアノ・ソナタを全曲演奏するコンサートを行った。竹ノ内氏は、全曲暗譜にて演奏し、参加した人々はその温かな音色を深く楽しんでいた。参加者からは、素晴らしいピアニストが南アを訪れ、

野心的なコンサートを行ってくれたことに感動しているといった声が挙がった。

5 警備

●外国人排斥を掲げた暴動や抗議活動の発生

9月初旬、ヨハネスブルグCBD、プレトリアCBDにおいて外国人排斥を掲げた暴動や抗議活動が発生。アフリカ系外国人が経営する商店等を対象とした略奪や放火が行われ、警察が部隊を投入して鎮圧に当たる事態となった。これらの暴動は、アレキサンドラ、テンビサ、ケンプトンパーク及びジャーミストン等といった地域にも広がり、各地域で一時緊張状態が続いた。外国人排斥を掲げた暴動であったが、南ア人経営の商店も略奪の被害に遭うなど、外国人問題とは関係の無い犯罪行為が含まれていた。

外国人排斥問題は日頃から南ア社会に潜在し、過去にも外国人排斥活動が発生したこともあり、今後も注意を要する。